

こんにちは！ラズベリーちゃん



工藤 ひかりさん
(六沢在住)

六沢で農業をしている工藤 ひかりです。私はブルーベリーや大根、主にラズベリーを栽培しています。

ラズベリーの話をすると、よくこう聞かれます。「ラズベリーって、なに？」とそうですよね。皆さんに知ってほしいのでここで「ラズベリー」の紹介をしたいと思います。写真もありますが、分かり



ラズベリーの実

にくいですがよね。野いちご、バラいちごとも呼ばれています。「昔は道端にあつて、食べだごあつけ〜」なんて言われたことがあります。いちごより小さい赤い実で、ツブツブした種がある果実です。甘みより酸味があるのが特徴です。なんとなく思いつくかなでしようか？

ラズベリーは夏の終わりがら秋が収穫時期です。畑に行



ラズベリーのハウスにて

くと愛おしいなあ。可愛いなあ〜と思いつながら収穫しています。まだ地元では販売していないので、皆さんに知って頂くためにも、市内でも販売したいと考えています。ラズベリーを見かけた時は、私の事も思い出してもらえると嬉しいです。

これまで、フェイスブックなどのSNSはあまり更新していませんでした。これからは、出来るだけ写真も付けてアップしていきますので、SNSで見かけたら、ぜひフォローをお願いします！

お詫びと訂正

議会だより95号を次のとおり訂正しお詫びいたします。

5ページ

WiFi整備工事の文中「118ヶ所」を「18ヶ所」に。

17ページ

残りの任期の取り組みの文中「市制」を「市政」に。

20ページ

表紙説明の文中「加藤周平さん」を「加藤皓平さん」に。

「ふるさと応援隊」を「地域おこし協力隊」に。

表紙の説明

1月7日に延沢愛宕神社において、第24回裸参拜が、県内外から21名の参拜者で行われました。尾花沢市地域おこし協力隊の林慶一さんと加藤皓平さんも厳寒の中、冷水をかぶり、幸福を祈り参拜しました。

あとがき

編集委員のなかで副委員長という大役を任せられました。多くの先輩議員の質問、質疑、審査を短い文章で表現する上で、趣旨はどの部分なのかを大切に編集に努めています。

議員各自が原稿を作り、編集委員が全てを編集しているこの議会だよりは、力量不足の部分もありますが、これからのより良い紙面づくりを目指していきます。(鈴木 裕雅)

発行責任者

- 議長 須貝 孝
- 市議会だより編集委員
- 委員長 小関 英子
- 副委員長 鈴木 裕雅
- 委員 青野 隆一
- 委員 塩原未知子
- 委員 笹原 和子
- 委員 伊藤 浩
- 委員 鈴木 清

12月定例会

- 平成29年度補正予算…………… 2
- 一般質問…………… 4
- 広域組合議会・請願…………… 13
- 先進地視察・モニターの声…………… 14
- 私のひとこと…………… 16

おばなざわ 市議会だより

96号

平成30年2月1日発行

発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会

主な補正予算の紹介



玉野放課後児童クラブ新設
350万円



福祉灯油購入扶助
350万円



家庭保育応援給付金
230万円

定例会のあらまし
平成29年12月定例会は、12月7日から15日までの9日間の会期で開催され、補正予算5件、条例の制定3件、人事案件1件を慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決しました。また、請願2案件はいずれも賛成4名、反対10名で不採択となりました。

あったかい生活をさらに応援します

議員からの主な質疑

家庭保育応援給付金

- Q 休業給付金を受けている人がもらえて、仕事のためにやむなく保育所にあずけた人がもらえないのは不公平である。市内企業でも育児休業を取りやすくする制度づくりが必要ではないか。
- A 子育てという大きな施策の中でトータル的に進めたい。
- Q 財源にふるさと応援基金をあてているが、問題はないのか。
- A 制度の内容を再度確認し、対応したい。

その他

- Q スクールバスや路線バスの老朽化が目立つ車両があるので、安心・安全な良いものを購入して欲しい。
- A 実状を見ながら対応する。
- Q 多面的機能支払交付金は鳥獣対策として、大規模な柵の設置をしてもいいのか。
- A 対象範囲の中で可能である。

一般会計補正予算の主な内容	補正予算の金額
除排雪・雪下し委託料	2472万円
番号制度システム開発業務委託料	219万円
新庁舎ネットワーク構築設計業務委託料	648万円
介護保険特別会計繰出金	1520万円
障害者自立支援給付費	7400万円
国民健康保険特別会計繰出金	3000万円
多面的機能支払交付金	1422万円
芭蕉・清風歴史資料館改修工事費	820万円

	12月補正額	合計予算額
一般会計予算	2億652万円	126億4852万円
国民健康保険特別会計予算	5138万円	26億5645万円
介護保険特別会計予算	1億2257万円	19億7636万円
後期高齢者医療保険特別会計予算	1178万円	1億9534万円
合計	3億9225万円	174億7667万円

「宝の雪」を活かす攻めのまちづくりを！

市長…尾花沢らしさのある街づくりを進めたい



塩原未知子 議員

人口流出に歯止めをかけるには本町まちづくりのビジョンが大切！



議員のつぶやき…

問 北町地区の再開発計画の進捗はどうなっているのか。ダム償還が終わり財政負担も軽減した。新庁舎も出来る。人口流出に歯止めをかけるためにも本町地区は「芭蕉十泊の町」「尾花沢まつり」など江戸時代からの歴史や文化などの景観を大事にしたまちづくりビジョンを検討すべきではないか。

答 歴史・文化的資源を活かした尾花沢らしさのある街並み整備をしていくため、1月に北町地区再開発に係る庁舎内での検討委員会を立ち上げる。事業は旧市民会館の解体などを新庁舎建設完了後にスタ

本町まちづくりを急げ

問 冬期間の防災無線は特に聞こえない。11月の豪雪時に投雪禁止の防災無線が何度も放送され市民は混乱した。緊急事態には臨機応変に対応する事こそ必要ではないか。緊急広報はもっと工夫して、ICTを活用したローカル放送局を行うなど様々な方法で積極的な広報を検討すべきだ。

答 防災無線の向きを工夫し、今後SNSやWebラジオなど有効かどうか調査研究する。流雪溝への放水は、土地改良区との契約が12月からだが、今

若者ローカル放送局を

一トできるよう進めたい。

問 若者定住促進のために、徳良湖周辺に再生可能エネルギーを活用したエコパーク(定住むら)の整備を考えてはどうか。

答 今年は雪まつりを2月24～25日に変更し徳良湖を会場として行う。1月からはスノーランドもスタートする。徳良湖マスタープランも今年度中に完成する。美しい景観整備保全には再生可能エネルギーは意義あると考えるため、今後検討したい。

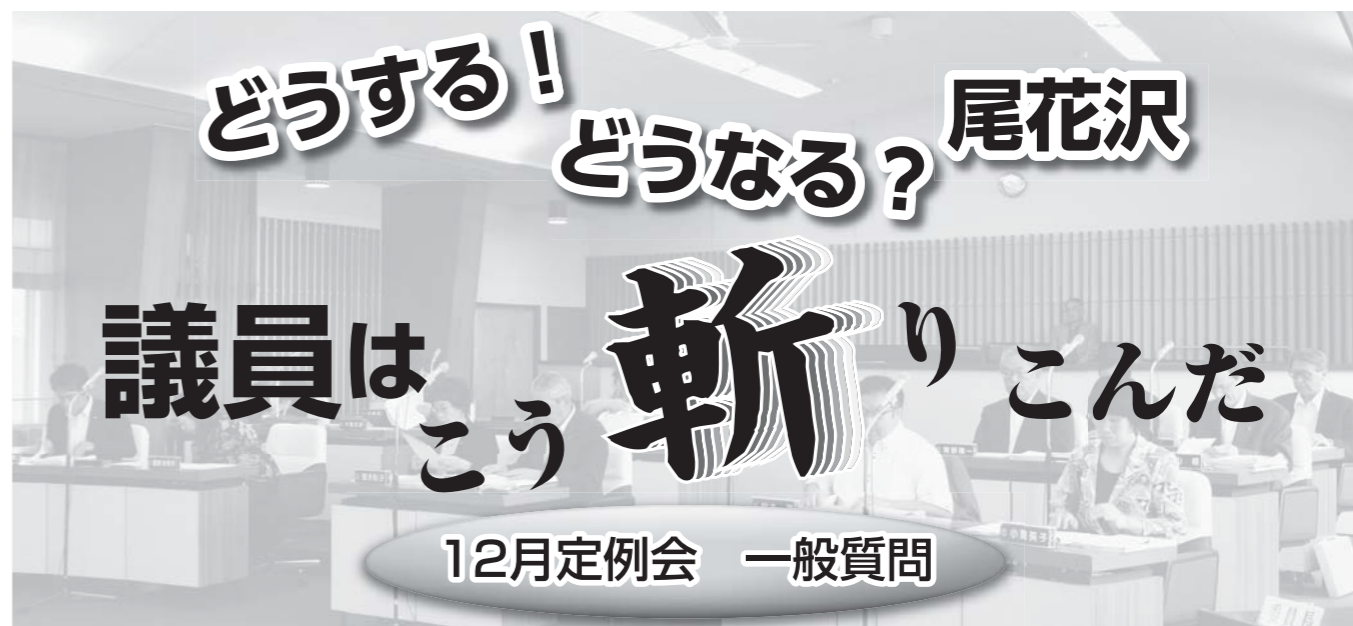
徳良湖周辺の定住整備

後臨機応変に年間総量の前に倒しが出来ないか相談したい。



雪景色が美しい朝の徳良湖

※ICT・アイシーティ
Information and Communication Technology (インフォメーションアンドコミュニケーションテクノロジー)の略語で「情報通信技術」と訳される。



12月定例会 一般質問

◇掲載項目 ・その他の質問項目

塩原未知子	<ul style="list-style-type: none"> ◇本町地区のまちづくりについて ・使われなくなった公共施設や空き地、空き家対策について ◇徳良湖周辺へ定住できるような整備を ◇ICTを活用したローカル放送局開設について ・6次産業への支援について
小関英子	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー対策の拡充 ◇障がい者支援対策の拡充 ・尾花沢版ネウボラの乳児の聴力検査の実施 ◇運転免許証返納者支援 ・国際交流の推進
青野隆一	<ul style="list-style-type: none"> ◇人口減少に歯止めのかかる政策を ◇地域の人が気軽に集まれる居場所をどう進めるのか ◇高齢者おもいやりタクシー事業の改善を図ってはどうか ◇今後の保育園、小中学校のあり方をどう進めていくのか
伊藤浩	<ul style="list-style-type: none"> ◇鳥獣被害対策について ◇花笠高原地区の今後の振興策について ◇今後の農業政策について
大類好彦	<ul style="list-style-type: none"> ◇第6次尾花沢市総合振興計画について ◇文化財について ◇小中学校の統合について ◇子育て日本一のまちについて ◇鳥獣被害防止対策について
鈴木清	<ul style="list-style-type: none"> ・県との共同運営化による国民健康保険料はどうか ◇「道徳」の教科化と「銃剣道」の中学校保健体育の武道の選択種目化について ・地方創生・人口減少社会のもとでの学校のあり方について
菅野修一	<ul style="list-style-type: none"> ◇これからの地域農業を発展させる戦略を問う ・補食給食の解消はいかに ・自治基本条例の検討、制定について ◇加藤市長3期目へ挑む決意は
菅根光雄	<ul style="list-style-type: none"> ◇厳しい財政の中で新規事業と継続事業について

※一般質問は、議員1人あたり最大1時間の持ち時間で行われています。



市のホームページから **市議会インターネット中継・録画も見て下さい!**

尾花沢市議会 検索 www.city.obanazawa.yamagata.jp

人口減少に歯止めのかかる政策を

市長…自治体の施策だけで解決するのは難しい

尾花沢市の世帯数と人口(国勢調査)

年度	世帯数	人口	増減	減少率
昭和30年	5,385	33,277		
平成2年	5,579	23,909		
平成7年	5,575	23,127	-782	-3.3%
平成12年	5,562	22,010	-1,117	-4.8%
平成17年	5,549	20,695	-1,315	-6.0%
平成22年	5,332	18,955	-1,740	-8.4%
平成27年	5,109	16,962	-1,993	-10.5%
平成32年	4,894	15,179	-1,783	-10.5%
平成37年	4,689	13,585	-1,594	-10.5%

平成32、37年はこのまま減少した場合の予測数値

問 本市の人口減少は加速化しており、県内市町村で4番目に高い減少率となっているが、市長はどう考えているのか。

答 人口減少に歯止めをかけるのは大変難しい。各自自治体独自の施策で解決する域をはるかに超えている。

問 第6次総合振興計画の平成32年度目標人口をすでに下回っている。遊佐町では、独自の政策によつて移住者が4年間で15人、子どもも66人増えている。本市が取り組んでいる定住政策が、このままではいのかどうかをしっかりと検証し、遊佐町のようにさらに実効性のある政策展開をすべきと考えるがいかがか。

答 総合振興計画については毎年ローリングを行い、評価方法の見直しなども行ないながら、その時々ニーズにあった支援策を盛り込んでいきたい。

問 高齢者おもいやりタクシー事業について、75歳以上の交付要件や遠いところまで行くところがある。会う人がいる。することがある。」が生きがいにつながる。旧小学校区単位で、高齢者など地域の人々が気軽に集まれる居場所づくりを進めてはどうか。

答 高齢者だけでなく、子ども達も一緒に過ごせるような居場所づくりが必要であり、今後は実証的に整備をしていきたいと考えている。

問 老朽化したおもだか保育園や尾花沢小学校の改築時期はいつか。

答 おもだか保育園は、公立、私立の整備計画などについて意見交換をしながら検討していく。尾花沢小学校は、今のところ改築の考えはない。



大阪市生野区にあるアットホームな宅幼老所



青野 隆一 議員

人口減少は、集落の消滅を招く。無料化やパラマキの政策だけでは解決しない!



議員のつぶやき...

運転免許証返納者への支援は

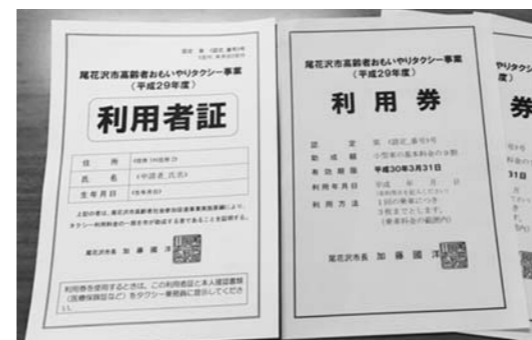
市長…利用者の意向を踏まえて継続する

問 高齢者の運転免許証の返納者への支援内容と、3年間の返納者の人数の推移はどうか。

答 高齢者運転免許証自主返納支援事業は、今年度から2万円分のタクシー利用券またはバス回数券に拡充している。自主返納者人数は、平成27年度25名、平成28年度24名、今年度は11月末現在82名で、返納者への支援の拡充効果が表れていると考えている。

問 おもいやりタクシー券の交付人数、枚数、実績額、利用枚数はどうか。継続事業を考えているのか。

答 11月末での交付実績は交付者数67名、枚数1万5千78枚であり、実



尾花沢市高齢者おもいやりタクシー事業

績は10月末で利用者数43名、枚数4千232枚、助成支払金額24万2千500円になっている。この事業は高齢者の社会参加と生活圏の拡大のために実施するもので、通院や買い物の際に活用され好評を得ており、利用者の意向も踏まえて見直しを図り

ながら、来年度以降も継続していきたい。

問 障がい者支援対策の拡充

答 障がい者ヘルプマークは東京都が独自に作成し、聴覚障がい者や内部障がい者などがヘルプマークを提示することで、周囲に支援を求める際に有効に活用されている。広く周知することが重要と考えている。導入については検討していきたい。

問 障がい者用駐車場の周知と、バリアフリーへの関心を高めるための取り組みとしてブルーペイント体験を実施してはどうか。

答 障がい者用駐車場のブルーペイント活動は全国的に実施され、県内でも活動事例がある。公共施設の障がい者駐車場の修繕の時期に合わせて、活動が実施できるか担当課と調整していきたい。



小関 英子 議員

誰もが、もっと安心して生活できるまちになってほしい。



議員のつぶやき...

どんな大輪の花が咲いたのか

市長…夢・絆・元気創造のまちを目指したい



大類 好彦 議員

第6次総合振興計画の進捗状況

問 市長は「1期目の4年間は、市の借金が多かつたため、やりたい事ができなかった。そのため種を蒔いてきた。種が芽をだし成長し、いよいよ大きな花が咲く時期にきた。その成果とは国道347号の通常通行と、第6次尾花沢市振興計画の実行である。」と言いがそれぞれ、どのような大輪の花が咲いたのか。

答 各項目について取り組んできた。今後とも、夢輝き絆でむすぶ元気創造のまちを目指したい。



山門イメージ

指定文化財

問 市の指定文化財33件のうち建物1件、彫刻6件があり、いずれも昭和37年と44年に指定されて50年程になる。今後、文化財一級、二級などとして、文化的に価値のあるものを

小中学校の統合

問 平成29年の統計では、小学校76人、中学校424人で人数・複式学級・部活動などから考えると、近い将来に小中学校は各一校になつていくと推測される。統廃合が必要な場合、スクールバスの準備や駐車場不足など、色々問題があると思う。先を見越して準備すべきと考えるがどうか。

答 具体的な計画を策定する際に検討する。

子育て日本一まちづくり

問 島根県邑南町のように、政策だけではなく地域のコミュニティを重視してはどうか。

答 尾花沢市でも、地域のコミュニティはとれていると考える。

鳥獣被害対策

問 広島県三原市のように地域ごとに実績を上げていく取り組みを、尾花沢市でも実践してはどうか。

答 地域住民の維持管理体制の構築が重要と考えている。

市民は、除雪を何とかしてほしいと願っている。



議員のつぶやき…

鳥獣被害対策は先手を打つべきである

市長…くくり^{わな}罾や箱罾を増やし捕獲率向上を目指す



伊藤 浩 議員

鳥獣被害対策

問 「野生動物の保護」についてどう考えているのか。

答 近年の野生鳥獣の生息域の拡大や農作物被害が増えている事を受け、市民の身体的、経済的な安全・安心を第一に対策を強化していく。

管理も地域で行う必要があり、地域住民による維持管理体制の構築が重要と考えている。現在、これらの意見をアンケートでお聞きしている。

鳥獣対策は先手必勝!!



議員のつぶやき…

今後の農業政策

問 来年度より減反政策が廃止され、直接支払交付金もなくなる事で、目標達成のメリットが無くなる。個人の生産目標数が示されても、生産過剰となる恐れがあり、結果的に米価の下落に繋がる可能性もあるが、尾花沢市農業再生協議会としてどう取り組んでいくのか。

答 来年度以降の米政策については、県から示される「生産の目安」を基に農家個々に生産の目安を示すようにする。現地確認作業などを含めた指導により、米価の安定を図るため需給バランスの維持に向けて取り組みを行う。

花笠高原地区の今後の振興策

問 今回提出された検討委員会の提言についてどう考え、地域の声をどう取り入れていくのか。

答 花笠高原荘はオープンから25年が経過し、今後の改修などを含め非常に難しい判断が求められている。提言を受けて、本来の設置目的である農林漁業体験実習館という機能を維持しながら、規模を縮小するという考え方に沿って進めて行く。今後の審議の過程で、色々な意見を出していただきたい。

降も、先進地視察や罾を増やし、捕獲率の向上を目指す。

問 イノシシの被害情報が増えている。先進地の状況を聞いても、被害の拡大が早く進み、先手を打った対策が必要であると考えているがどうか。

答 イノシシの目撃情報や被害報告が増加しているが、実態や生態など不明な部分が多く対応に苦慮している。県からは有害駆除を積極的に進めるよう指示があり、今年度はくくり罾を購入した。来年度以

下の設置目的である農林漁業体験実習館という機能を維持しながら、規模を縮小するという考え方に沿って進めて行く。今後の審議の過程で、色々な意見を出していただきたい。

管理も地域で行う必要があり、地域住民による維持管理体制の構築が重要と考えている。現在、これらの意見をアンケートでお聞きしている。

加藤市長3期目へ挑む決意は

市長…^{しか}然るべき時期に



菅野 修一 議員

「これからの地域農業を 発展させる戦略を問う」

問 平成30年から米の生産数量目標と直接支払交付金が廃止される中で、県・市農業再生協議会は生産者ごとに生産の目安を提示する方針を決定した。農業従事者の実態は、高齢化

答 元気の種を蒔き、育て、実を結ぶような時期に来ていると考えている。各種重要施策を推進中であり、然るべき時期がきたら申し上げたい。

受入れ態勢については、本市独自の「元気な農業支援事業」で支援している。住宅費の支援、活動用車両の支援、2年間の研修期間中の生活費に係る支援や、

と担い手不足が顕著になってきている。新規就農者の募集はどのように行っているのか。先進農家受入れ態勢や安価な宿舎の提供などできないか。また、就農支援期間を10年まで延長できないか。海外からの実習生受入れ態勢を構築できないか。

研修生に技術を指導する先進農家への支援も含まれている。居所については、関係各課と連携し、経済的な市内の空き家を紹介するなどの対応をしている。「農業次世代人材投資事業」は、今後も国が定めた期間内での独立・自立を目指して、多方面で支援したい。

海外実習生の受入れ態勢の構築については、現行の国の制度としては「外国人技能実習制度」がある。実習内容、従事時間及び賃金に関するトラブルや、実習元からの逃走による不法残留者が6千500人を超えるなど、課題も多いため慎重に対応したい。

減反廃止

問 減反の廃止で米作りへの大幅回帰となれば、米価は暴落すると思われる。「水田フル活用直接支払交付金」に市独自加算を検討してはどうか。

答 加算については、他作物も含めた中での検討や、要する経費などの課題があ



新・農業人フェア

庁舎建設にも着工し決意は固まっているものと思っていた…



議員のつぶやき…

「道徳」教科化・「心に成績をつけないで」の声

教育長…「考え、議論する道徳」の授業を

「道徳」の教科化

問 これまでは、教科外の活動」という位置づけにあった「道徳の時間」が、小学校は平成30年度、中学校は平成31年度から正式教科となる。どういう理由で正式教科としたのか。また、具体的にどのような教育内容と指導方法になるのか。

答 教科化の背景・理由としては、道徳の時間が形骸化していること、指導法・内容にばらつきがあること、いじめ防止に大きな効果が期待できることなどがある。大きく変わる点は、教科書を使用すること、評価を行うことの2点。子どもたちが「考え、議論

する道徳」の授業になるよう指導・助言していきたい。

問 道徳を評価することは、心の中の見えないうところを評価することになる。全国的には「心に成績をつけないでほしい」という保護者からの声が上がっている。本市ではどのような評価の仕方になるのか。また、文部科学省は、通知表に書かれる道徳の評価が入試の可否判定に使わないよう方針を表明しているが、どう考えているか。

答 数値による評価はそぐわないため、個人の成長を記述式で行う。入試への活用については文部科学省・県教育委員会の指導に基づき行いたい。

選択種目に銃剣道

問 文部科学省が3月に告示した新中学校学習指導要領の教科保健体育の武道において、選択種目の1つに「銃剣道」が明記された。「銃剣道」は戦前の教練「銃剣術」として教えられたものであり、喉と胸を突く危険な技であるため、中学校で教えていいのか問題となっているがどう考えるか。

答 新学習指導要領での「武道」の扱いは、柔道・剣道・相撲の中から1つを選択し指導することが基本だ。特に学校や地域の実情がある場合には、弓道・合気道・少林寺拳法・銃剣道を扱うことができる。



新聞の記事

自己採点で50点。質問項目をしぼり、資料など工夫して次回がんばります。



議員のつぶやき…

いずれの種目も段階的な指導を行い、安全を十分確保することが明記されている。本市では施設設備・指導者・教員などを考えると、これまで通り柔道になる。

厳しい財政の中、新規・継続事業は何か

市長…真に必要な施策に予算を重点化したい



菅根 光雄 議員

問 平成30年度の歳入の地方交付税の見直しはどうか。

答 地方交付税の総額は2.5%減となり、本市への影響額は約1億円減と見込んでいる。

問 平成30年度はどのような新規事業を想定し、経費を試算しているのか。

答 子育て日本一を目指す新規施策は、①18歳までの医療費の無料化(600万~700万円)②学校給食への助成事業を考えており、予算編成の際に示したい。

問 新庁舎建設に係る起債の償還見直しはどうか。

答 償還見込み額は、元利合計で約13億5千万円となる。ただし交付税

の算入があるため償還期間は、15年間で、平準化すると1年当り約4千300万円と見込んでいる。

問 新規事業や新庁舎建設による歳出増加の場合、事業の見直しが必要ではないか。

答 歳出増加を抑えるために継続事業の見直しも行いながら、本市の魅力や活力を生み出す施策に予算を重点化していきたい。

問 今後の福祉政策は

答 団塊の世代が後期高齢者となる8年後、認知症や高齢化に伴う家庭での介護に対する支援策にどう取り組んでいくのか。団塊世代問題への国の取り組みが遅れている。国の施策の包括的支

今後の福祉政策は

問 「介護用品(紙おむつなど)支援事業」の①支給対象者の人数は。②支給要件緩和と助成額拡充を図っては。③家族介護者の交流研修を実施しているが、参加できない人もいる。介護している方への支援を考えるべきではないか。

答 ①は158名。②支給要件の緩和は今のところ考えていない。助成額の拡大は、平成25年より、要介護4以上(市県民税非課税)の方で5千円を8千円に、要介護3以上(市県民税5万円以下)の方へ2千円に支給を拡充している。③家族介護者を事業に参加しやすくするために、要介護者をショートステイなどの一時的代替え介護する場合、介護費用を助成し参加しやすい体制を整備している。

施策の注釈がないと理解できないのではないかな。



議員のつぶやき…

問 共同調理場を活用して、夕食弁当を作り、高齢者へ届ける「福祉給食」の実施を検討してはどうか。

答 現在の業務状況では、高齢者向けの調理を行うのは難しい。「食の自立支援事業」として市内業者の方が希望者85名に行い、安否確認にもなっている。

広域組合議会の報告

北村山広域行政事務組合議会

平成29年11月6日に定例会と12月26日に臨時会を、村山市議場で開き、三市一町議会の改選に伴い、議長に森一弘村山市議、副議長に塩原未知子尾花沢市議を指名推選で選出した。教育委員会委員には五十嵐健尾花沢市教育長を再任した。

平成28年度一般会計決算を定例会で認定し、臨時会で補正予算56万円(教材データ管理用サーバー購入費)を追加し原案通り可決した。

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会

臨時会が、平成29年12月22日に開かれた大石田町議会の改選に伴う副議長選を行い、指名推選で星川久議員を選出した。

また、水道常任委員長と議会運営副委員長に遠藤宏司議員、衛生常任副委員長に村形昌一議員をそれぞれ選出し、監査委員には小玉勇議員を選任した。

平成29年度一般会計補正予算は、塵芥処理費215万円を追加、6億2千53万2千円とした。公共下水道事業特別会計補正予算は、流域下水道費など73万1千円を追加、6億1千99万9千円とし、原案通り可決した。

北村山公立病院組合議会

平成29年12月25日に組合議会定例会が開かれ、県の地域医療構想を踏まえた急性期病棟を60床削減。副議長に長南誠村山市議会議長を選出。入院・外来患者数の減少に伴う補正予算などの議案を原案通り可決した。

平成29年度北村山教育賞受賞者紹介

北村山教育賞には尾花沢小学校自転車クラブの皆さんと、尾崎光輔氏(鶴巻田出身~現在自衛隊体育学校)が、北村山教育奨励賞には井上雄斗君(尾花沢小6年)が受賞した。



尾花沢小学校自転車クラブ

請願

12月定例会に2件の請願が提出され、採決の結果いずれも賛成少数で不採択となった。

不採択

平成29年請願第5号

憲法9条を変えないよう国に意見書の提出を求める請願

1 憲法第9条を変えないでください。

2 憲法の平和、人権、民主主義が活かされる政治を実現してください。

請願者 尾花沢9条の会

共同代表 梅津 保一

鈴木ミツエ

不採択

平成29年請願第6号

「若い人も高齢者も安心できる年金制度」を国の責任で創設するための意見書を求める請願

1 隔月支給の年金を国際水準である毎月支給に改めること

2 年金支給開始年齢のこれ以上の引き上げは行わないこと

3 「マクロ経済スライド」は廃止すること

4 全額国庫負担の「最低保障年金制度」を早期に創設すること

請願者 全日本年金者組合北村山支部 支部長 植田美子

○：賛成 ×：反対 /：議長

12月定例会賛否状況

(賛否の分かれた議案のみ掲載、他は全会一致)

受理番号	採決の結果	鈴木裕雅	塩原未知子	笹原和子	伊藤浩	鈴木清	小関英子	武田佳久	大類好彦	星川睦子	青野隆一	奥山格	加藤克彦	菅野修一	菅根光雄	須貝孝
請願第5号	不採択	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	/
請願第6号	不採択	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	/

移住・定住・空き家対策

総務文教常任委員会

広島県尾道市

NP法人「尾道空き家再生プロジェクト」のブログを立ち上げて1年、100件の問い合わせがあり、20〜30歳の若い層に人気で、住むのに適さなくても、空き家その物をアートとして、カフェ、洋服店、絵描きや漫画家の作品展示など、「尾道式空き家再生術」を生み出している。行政とタイアップし、土・日・祝日の利用も可能な限り移住定住のお手伝いをしていく。



代表者から説明を受ける

岡山県瀬戸内市

岡山市を中心に8市5町の連携で移住定住の取り組みを実施、県内では年齢を問わず人気の移住先となっていた。移住希望者には、お試し住宅で生活体験や仕事探しの拠点として提供している。地域の受け入れ体制も充実してきて、きめの細かいサポートで幅広い年齢層が移住している。今は空き家が少なく空き家の掘り起しを行っていた。



尾道市の空き家再生中

兵庫県神戸市

平成17年に大河内町、神戸町が合併し、人口1万1千704人、県下で一番小さな自治体。出生の少なさに危機感を持ち「ひと・まち・みらい課」を置く。その政策と実績は空き家・空き土地移住者は10年で119件、移住76世帯178人、若者・子育て世帯は見張るものがある。今は空き家を探している現状で店舗、古民家レストラン、蕎麦処、ピザ店などに活用している。

モニター制の導入で市民の関心が以前よりも高まりました。

ふるさと応援隊の顔写真をのせて、広くPRして下さい。

議員の顔イラストは本人の特徴をとらえていて新風が感じられます。

表紙については、人物が小さく表情がわかりにくい。説明文も文字が小さく、読んでいただいたか心配です。

似顔絵や「つぶやき」があることで、一人一人の考えていることが簡潔に分かりやすく、親しみやすいと思いました。

市議会だより95号

モニターの声

写真の説明文で「・・・なあ」がワンパターン、「どがえすんだぞ」は受け取る人にとっては冷やかしにとる方がいるかも知れません。

どの世代でも理解できる内容であると思います。

議会の活動が詳しく知ることができ、尾花沢を良くしようというのが記事で伝わってきます。

弾道ミサイルから身を守るための避難訓練や防災頭巾の要望は、いたずらに市民の不安をあおるととらえられかねません。

先進地視察を

市政に活かす!

一般質問もさまざま

議会運営委員会

郡山市議会では、代表質問と市政一般質問があり、代表質問は施政方針に対し所属議員2名以上の会派が3月定例会に行う。一般質問は、年間一人60分を数回に分けて質問しており、議会運営委員会で会派発言順位を抽選した後に個人発言順位を決定している。議会運営委員会は、委員以外でもオブザーバーとして出席し発言もできる。

重複している質問は、受付日の翌日に重複の調整及び再提出の機会を設けている。

また、議会改革検討委員会は議長の諮問機関とし、議会政策研究会を設置して議員の政策提言の向上を図っている。請願・陳情などの提出者の意見陳述を行っていることも注目したい。

また、議会改革検討委員会は議長の諮問機関とし、議会政策研究会を設置して議員の政策提言の向上を図っている。請願・陳情などの提出者の意見陳述を行っていることも注目したい。

また、本会議がスマートフォンなどでも視聴ができるなど、議会を身近に感じる取り組みも行っている。

両市の視察を、今後の議会運営に大いに役立てていただくことを期待する。



職員の意気込みが原動力

産業厚生常任委員会



邑南町の保育園には体調不良児室がある

①東広島市の多世代交流支援センター②邑南町の日本一の子育て構想③北広島町の次世代エネルギーパーク事業④三原市の鳥獣被害対策について行政視察を行った。紙面の都合で②と④について報告する。

島根県邑南町は、人口1万1千人、高齢化率43・2%の町である。しかし、「日本一の子育て村構想」を掲げ、徹底した移住者ケアによって、合計特殊出生率2・65人を実現し、平成27年度のU・イターン者は100名で子どもの数も増えている。町長は「廃校は集落を消滅させる!」との考え方で、歩いて通える小学校を残すことで移住者や子どもたちが増えたと話す。経済的な負担軽減の制度は十分との考えで、今後は「地域で子育て」を実践し、日本一の子育て村を住民が実感できるまちにしたいと語る。

順を研修した。
1 みんなで勉強する。
2 餌場や棲み場をなくして農地を守る。
3 人慣れさせないよう追い払う。
4 捕獲する。
年間300件の柵補助金申請があるが、必ず現地指導を行っている。「必ず防いで見せる。」という職員の強い意気込みこそが被害対策の大きな原動力であると感じた。



三原市のイノシシ被害対策必読本